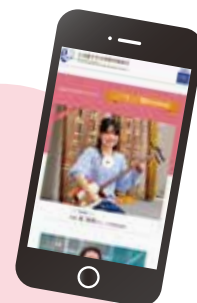


Webサイトのお知らせ

学生ボイスなども充実！
会報誌と連動して、
充実したコンテンツをお届けします！

今すぐアクセス！



あるあるR探検隊
第9代隊員 坂田 菜帆さん

アクセスはこちら！

父母教育後援会

<https://www.ritsumeai-fubo.com/>

立命館大学Webサイト→保護者の方



立命館 父母教育後援会

検索

Webでもアンケートを受け付けます！

いつも父母教育後援会だよりをご愛読いただきありがとうございます。

同封しているアンケートはWebからも記入できます。

読者である保護者の皆様の声に耳を傾けて、
より充実した誌面を作成していきますので、
ご協力いただけますようお願い申し上げます。

アンケートは
こちら



■会員の住所変更について

本誌は、学生が大学に届け出ている父母等住所宛に送付しています。

父母等住所・連絡先を変更される場合は「学び支援サイト」の「本人の帰省先住所・父母等の氏名、緊急連絡先、学費請求先の変更」より学生本人による手続きが必要です。

※最近、立命館や関係団体等の名刺を利用した悪質なビジネス等が横行しております。
父母教育後援会は、会員の照会を学生には一切行っておりませんので、くれぐれもご注意ください。

個人情報の変更はこちら
[学び支援サイト](#)



2026年度
夏号

特集
1

デザイン・アート学部誕生

特集
2

道路交通法の改正と注意点

父母教育後援会の取り組み紹介

識者の視点

成績通知表の見方

ゼミナール訪問

クラブ&サークルWatching

知への扉

キャンパス探訪

卒業生からの手紙

あるあるR探検隊

神と仏と古代日本

読者の声／国際教育センターからのお知らせ

私たち、
今日も元気です。

今号の1枚



「ご来場ありがとうございました」

6/13(土)に3キャンパスで実施した春のオープンカレッジに、
多数のご来場をいただきありがとうございます。
当日の様子はWebサイトでご覧いただけます。

当日の様子



Contents

特集1

P 2 デザイン・アート学部 誕生

特集2

P 5 道路交通法の 改正と注意点

P07 父母教育後援会の
取り組み紹介

P09 識者の視点

P11 成績通知表の見方

P13 ゼミナール訪問

P15 クラブ&サークルWatching

P17 知への扉

P19 キャンパス探訪

P21 卒業生からの手紙

P23 あるある R 探検隊

P25 神と仏と古代日本

P26 読者の声／
国際教育センターからのお知らせ

特集 01

デザイン・ アート学部 誕生

「美的感性」の視点から、
時代を問い直す。

AI時代に求められるのは、数値では測れない価値を見いだす力。
デザインとアートの融合が生み出す、新しい学びが始まります。

特集 02

自転車通学をするなら知っておきたい！

道路交通法の 改正と注意点

自転車にも「青切符」が導入されるなど、
2026年4月から道路交通法が改正されました。
学生が安心・安全に通学できるよう、
改正のポイントや注意すべき点を解説します。

✓ 改正のポイントがわかる！

✓ 立命館大学の取り組みがわかる！

✓ 父母教育後援会の支援がわかる！





特集

01

デザイン・アート学部誕生

新学部にかける想い

「なぜ今、デザイン・アート学部なのか。」構想の背景には、30年近くにわたる研究と教育の蓄積がありました。新学部に込めた想いと、その先に描く未来について、学部長の赤間先生にお話を伺いました。



PROFILE

デザイン・アート学部 学部長
赤間 亮 教授

日本の伝統文化・芸術資源のデジタルアーカイブ研究の第一人者。デジタル技術を活用した文化資源研究を牽引し、2026年4月よりデザイン・アート学部長。

30年近い構想が、
ついに学部という形になった。

——なぜ今、デザイン・アート学部なのでしょう。

確かに驚かれることが多いですね。ただ、実は決してゼロから生まれた構想ではありません。立命館大学では1998年にアート・リサーチセンターを設置し、文化芸術資源に関する研究を積み重ねてきました。また、経営学部でデザインに関わる教育、文学部や大学院・先端総合学術研究科でのアート研究など、それぞれの学部・研究科で文化芸術に関わる教育・研究を展開してきました。ですので、文化芸術分野を大学として発展させようという構想は、1990年代半ばにはすでに始まっていたのですが、当時は学部を新設するだけの体制が整っていなかったため、まずはアート・リサーチセンターを拠点に研究を積み重ねてきました。そうした長年の研究と教育の蓄積を経て、今回のデザイン・アート学部の設置につながったのです。

「デザイン」と「アート」が
拓く新しい学び。

「美的感性」という視点から、
デザインを問い直す。

——学部名にあえて「アート」を加えた理由を教えてください。

AIの時代に、人間にしかできないことは何か。私はそれをずっと考え続けてきました。行き着いたキーワードが「美的感性」です。単に「センスがいい」という意味ではなく、物事の意味を深く捉える力としての感性、と言えばよいでしょうか。従来の課題解決の手法は、数値やデータを根拠にするという発想が中心でした。しかし、同じ情報を与えられれば、誰もが同じ結論にたどり着いてしまい、これはAIが最も得意とする領域です。数値だけを根拠にしている限り、突出した発想は生まれません。私たちがめざしているのは、問題を解決するだけではなく、その先にある新たな課題や可能性を自ら生み出せる人を育てることです。

総合大学と街を、
学びの舞台にする。

——具体的には、どのような教育を行っていくのでしょうか。

大きな特徴の一つが「街全体をラーニングプレイスにする」という考え方です。2回生からゼミが始まると同時に、学生には積極的に京都の街へ出てもらいたいと考えています。私自身も、老舗織物メーカーの川島織物様と共同研究プロジェクトを進めています。ゼミが始まる前の段階から、企業様との間にすでに実績のある関係性を築いておくことで、学生は単なるインターンシップではなく、自分たちで企画を組み立てながら実践的な成果を出すことができます。

美術館や博物館との連携も厚く、私自身の専門である海外に流出した日本美術品のデジタルアーカイブ研究を通じて、メトロポリタン美術館や大英博物館とも人的交流を含めた継続的な協力関係を保持しています。

——どのような人材の育成をめざしていますか。

芸術大学や美術大学がアーティストの育成を主眼とするのに対し、私たちが育てたいのは、美的感性と構想力を備え、社会の課題に新しい価値を提案できる人材です。その力は、結果として多様な進路や確かなキャリアにもつながっていきます。

学部の枠を越えて、
立命館大学全体へ。

——大学全体にとって、どのような役割を担うのでしょうか。

衣笠キャンパスの文学部や産業社会学部をはじめ、他学部の学生とも授業以外の探究型研究で協働していく。そうした動きの起爆剤にしたいと考えています。大学としても、AIやデータサイエンスなど先端分野を発展させる一方で、文化芸術分野も総合大学に欠かせない領域として位置付けています。そうした大学全体の方向性も、新学部設置を後押しする大きな要因になりました。

——最後に、保護者の皆様へメッセージをお願いします。

デザイン・アート学部では、単に一つの学部や研究・学習拠点にとどまるのではなく、他学部との協働を通じて、大学全体に新しい発想や創造性を広げていく。そのような存在へと育っていくことを期待しています。



学生同士の交流や創作活動を促す、開放的で創造性に満ちた新学部棟の空間イメージ。
※現段階で建設・整備が計画されている建物・施設のイメージ図です。

基本情報

デザイン・アート学部
College of Arts and Design
(2026年4月設置)

デザイン・アート学科

学位……………学士(デザイン・アート)
入学定員……………180名
キャンパス……………衣笠キャンパス
資格課程……………学芸員

デザイン・アート研究科
Graduate School of Science in Arts and Design
(2026年4月設置)

デザイン・アート学専攻

学位……………修士(デザイン・アート学)
入学定員……………20名
キャンパス……………衣笠キャンパス
1年制、2年制設置
※博士課程後期課程も設置予定

道路交通法の改正と注意点

2026年4月、自転車の交通違反にも「青切符」が導入されました。反則金の対象となる行為や、自転車通学で守るべきルール、立命館大学と父母教育後援会の安全への取り組みを紹介します。



自転車も交通反則通告制度（青切符）の対象に。

2026年4月から、自転車の危険な交通違反に対して「交通反則通告制度（青切符）」が導入されました。これにより、信号無視やスマートフォンを操作しながらの運転など、一定の違反については反則金の対象となります。

近年、自転車が関係する事故は全国で後を絶たず、歩行者が大けがを負ったり、命を落としたりする痛ましい事故も発生しています。こうした状況を受け、安全意識の向上と事故防止を目的として制度が見直されました。

自転車は手軽で便利な移動手段ですが、道路交通法では「車両」と位置付けられています。ルールやマナーを守るとは、自分自身の安全はもちろん、周囲の人の命や暮らしを守ることにもつながります。通学やアルバイトなどで自転車を利用する学生も多いからこそ、ご家庭でも今回の法改正を話題にし、安全な利用について話し合う機会といただければ幸いです。



交通反則通告制度（青切符）

交通反則通告制度（青切符）は、比較的軽微な交通違反をした場合に、反則金の納付を求める制度です。2026年4月からは16歳以上の自転車運転者による一定の反則行為にも適用されるようになりました。

● 反則行為の例 ～自転車の交通違反が反則金の対象に～

携帯電話使用等

スマートフォンなどを使用しながらの運転



反則金：1万2,000円

信号無視

赤信号を無視すること（黄色も原則止まれ）



反則金：6,000円

右側通行

車道の右側を通行する行為（いわゆる逆走）



反則金：6,000円

傘差し・イヤホン使用

傘差し運転やイヤホンの使用が違反になることも



反則金：5,000円

※制度の詳細や対象となる違反行為については、警察庁ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

自転車通学の注意点

自転車も「車両」です。

自転車は「軽車両」であり、自動車の仲間です。ルールを守るとは自分自身と周りの人の命を守ることにつながります。



安全意識をアップデートしよう。

- ✓ スマホを見ない、使わない
- ✓ お酒を飲んだら乗らない、乗せない、提供しない
- ✓ 信号を守る
- ✓ 傘やイヤホンを使わない
- ✓ ヘルメットを着用する など

！ ルールを守ることが、自身や他の人の未来を守ることにつながります。一人ひとりの意識が、事故のない安全な社会をつくれます。

立命館大学の取り組み

立命館大学では、学生が安全に自転車を利用できるよう、自転車登録制度を設けています。登録には保険加入や安全講習の受講などを条件とし、安全意識の向上と事故防止に取り組んでいます。

各キャンパスで自転車通学の登録制を導入。

立命館大学では、各キャンパスで安全な自転車利用を推進するため、自転車登録制度を運用しています。登録制とすることで保険加入を徹底し、交通ルールの遵守や適正な駐輪を促すとともに、防犯登録による盗難防止にも取り組んでいます。



登録するには

- ✓ 賠償責任保険への加入
 - ✓ 自転車防犯登録への加入
 - ✓ 前照灯の設置
 - ✓ 防犯対策（鍵）の設置
 - ✓ 安全講習の受講
- などを義務付けています。

父母教育後援会によるヘルメット購入の補助制度を活用しよう！

父母教育後援会では、学生の安全意識向上とヘルメット着用の促進のため、ヘルメット購入時に利用できる補助（5,000円）を実施しています。安全のために、ぜひご活用ください。申請用紙は、自転車通学登録窓口にお申し出ください。



学生の安心と未来のために。

父母教育後援会の取り組み紹介

学生生活を様々な面からサポートし、学びや成長を支えます。

取り組み 1 100円朝食



100円朝食で整える、
健やかな学生生活のリズム。

立命館大学では、学生が朝食を取る習慣を身につけ、規則正しい生活リズムで一日をスタートできるよう、「100円朝食」を実施しています。朝食をきっかけに生活リズムを整え、健康的で充実した学生生活を応援する取り組みです。

支援のポイント

- ✓ 規則正しい生活と健康的な食生活を支援
- ✓ 税込100円でライスと味噌汁と週替り小鉢2品
- ✓ 100円を超える部分を父母教育後援会が支援
- ✓ 年間14万人の学生が利用

ひと言

図書館の午前中の利用率が上がるなど、
学習効果も発揮しています。

100円朝食が
存続の危機！

支援をお願いします！

材料費の高騰が続き、100円朝食の支援にかかる負担額が年々増加しています。
その結果、2018年と比べて支援額は約2倍に増加しており、継続が厳しい状況です。

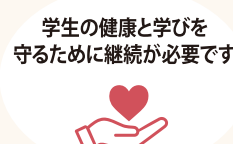
！ 100円朝食存続のためにご支援をお願いします！



材料費の
高騰で



支援額が
約2倍に！



学生の健康と学びを
守るために継続が必要です

支援額の推移（学生1食あたり）

95円 ▶▶▶ 197円
2018年（学生負担100円） 2025年（学生負担100円）
負担額は約2倍に！
※支援額は実際の提供コストとの差額分です。

ご支援 方法

古本募金でご支援をお願いします。

読み終えた本を送るだけで学生支援につながります。
お送りいただいた本の査定額が寄付となり、100円朝食の支援に活用されます。

1 梱包する

本を段ボールに
詰めます

2 申し込む

Webフォームから
お申し込み

3 集荷

ヤマト運輸が
ご自宅へ集荷

4 結果を確認

約2週間で
結果をご連絡

古本募金への
お申し込みはこちら



作業フローはこちら



取り組み 2

保険診療費 補助

学生が体調を崩した際の経済的負担を軽減し、安心して受診できるよう支援します。

支援のポイント

- ✓ 保険診療費の自己負担額を補助
- ✓ 3キャンパスに保健センターを設置
- ✓ 医師・看護師が健康をサポート
- ✓ メンタルヘルスにも対応

ひと言

キャンパス内で受診できるので、急な病気
でも安心。経済的な負担なく、安心して受診
できます。

取り組み 3

家計急変 奨学金

家計急変があった学生でも、修学を続けられるように支援しています。

支援のポイント

- ✓ 家計急変時※1に卒業までの授業料を給付
- ✓ 返還不要の給付型奨学金
- ✓ 経済的事由での退学者0名※2

※1… 生計維持者の死亡または重度後遺障害による就労不能など、
所定の要件があります。

※2… 2015年度の制度見直し後、488名の学生に給付。経済的事
由で退学を余儀なくされた学生は一人も出ておりません。

卒業見守り共済（任意加入）

月々800円の掛金で加入でき、万が一の際に
は月額8万円の保障で学生生活を支えます。

取り組み 4

ウォーター スタンド支援

父母教育後援会の支援により、各キャンパスのウォータースタンドを増設しました。

支援のポイント

- ✓ 各キャンパスに55台設置
- ✓ 熱中症対策をサポート
- ✓ マイボトルの使用を促進
- ✓ 環境にやさしい給水設備

ひと言

いつでも気軽に水分補給。
学生の健康と環境を支えます。

取り組み 5

生理用品 支援

女子トイレ・多目的トイレに生理用品の無償提供ディスペンサーを設置しています。

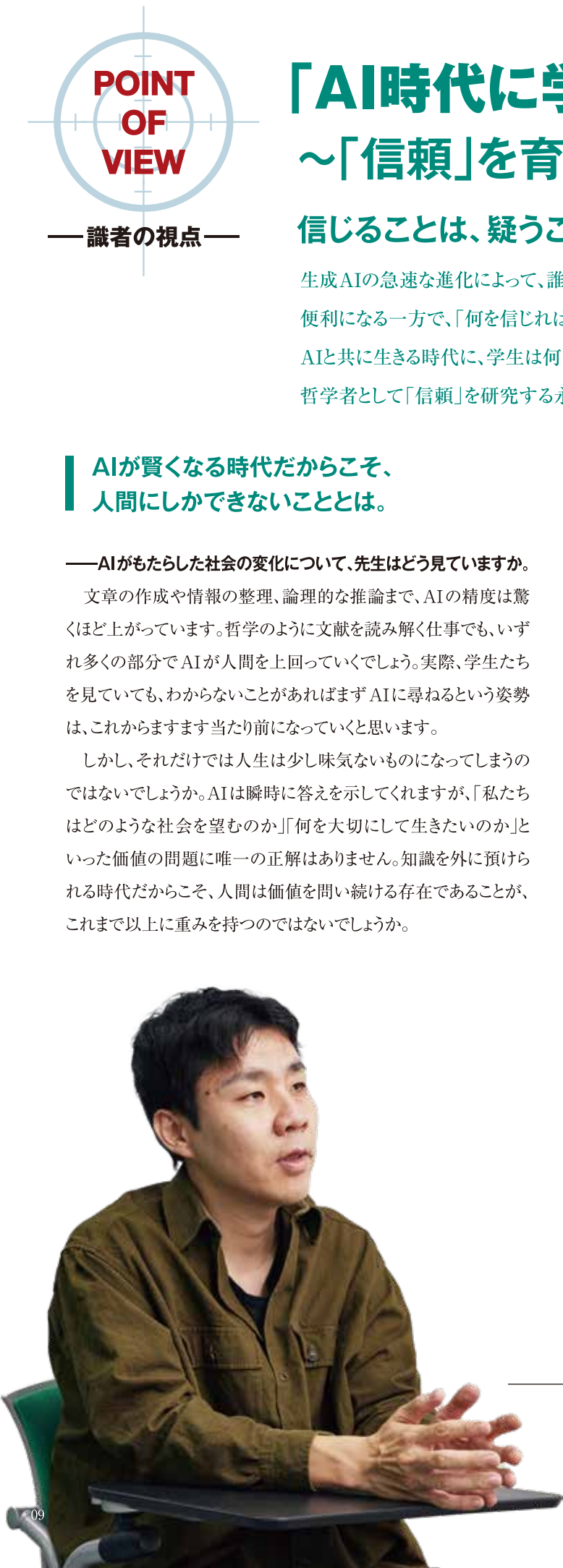
支援のポイント

- ✓ 生理用品を無償で提供
- ✓ 96カ所のトイレに設置
- ✓ 急な生理でも安心

ひと言

急な生理による不安を軽減。安心して学べ
るキャンパス環境を整備しています。

※詳細については、ホームページをご覧ください。



「AI時代に学生へ伝えたいこと」 ～「信頼」を育てる哲学～

信じることは、疑うことから始まる。

生成AIの急速な進化によって、誰もが簡単に文章や画像、動画を作れる時代になりました。

便利になる一方で、「何を信じればいいのか」が大きな課題になっています。

AIと共に生きる時代に、学生は何を学び、どのような力を育めばよいのでしょうか。

哲学者として「信頼」を研究する永守伸年先生にうかがいました。

AIが賢くなる時代だからこそ、
人間にしかできないこととは。

——AIがもたらした社会の変化について、先生はどう見えていますか。

文章の作成や情報の整理、論理的な推論まで、AIの精度は驚くほど上がっています。哲学のように文献を読み解く仕事でも、いずれ多くの部分でAIが人間を上回っていくでしょう。実際、学生たちを見ていても、わからないことがあればまずAIに尋ねるという姿勢は、これからますます当たり前になっていくと思います。

しかし、それだけでは人生は少し味気ないものになってしまうのではないのでしょうか。AIは瞬時に答えを示してくれますが、「私たちはどのような社会を望むのか」「何を大切に生きていきたいのか」といった価値の問題に唯一の正解はありません。知識を外に預けられる時代だからこそ、人間は価値を問いつける存在であることが、これまで以上に重みを持つのではないのでしょうか。

心を持たないAIの言葉が、
心に響くことには警戒が必要。

——生成AIによって、本物と偽物の境界が曖昧になっています。

ディープフェイクのように、AIは本物と見分けがつかない映像や文章を作れるようになりました。しかし、本当に警戒すべきは、「AIが間違える」ことではなく、「AIは信頼されるのが非常に上手い」ということかもしれません。今のところAIは、人間のような心や感覚を持っているわけではありません。それにもかかわらず、生成AIが出力する文章は極めて人間的で、穏やかで、いかにも頼りになりそうな口調で語られるため、私たちは内容だけでなく「不適切な信頼」を寄せてしまうことがあり得ます。人によってはAIに過度に依存したり、強く心を寄せられてしまったりすることが起きます。今でこそ文章が中心ですが、表情や声色まで実装されるようになったら、ますますその傾向は強まっていくでしょう。

これは意志の強弱の問題ではありません。私たち人間には、心地よい態度で接してくる相手を信頼してしまう仕組みが、もともと備わっています。友人や先生であれば、その仕組みは人間関係を築く助けになりますが、AIに対して同じ仕組みが働くと、個人の意志の力だけでこれに抗うのは、簡単なことではないと思います。

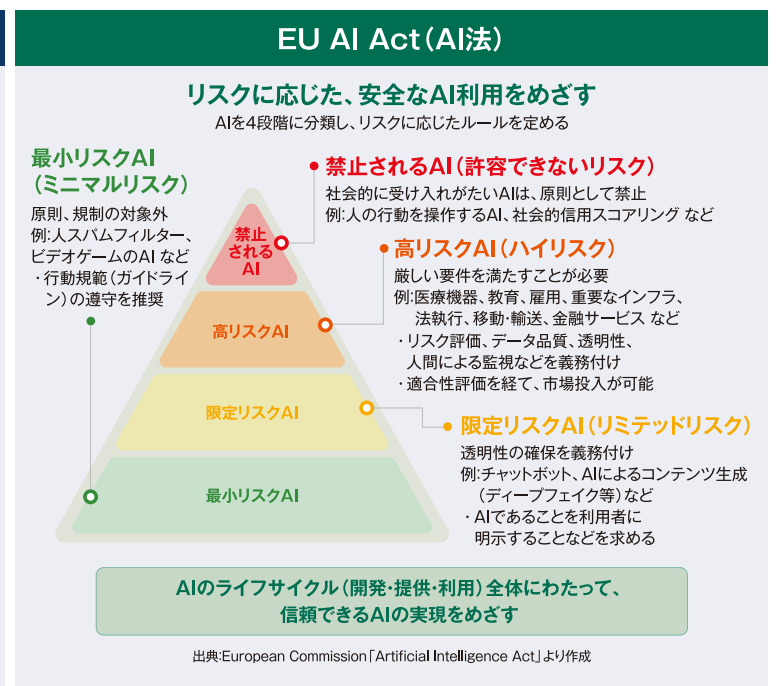
だからこそ信頼とは、「疑わないこと」ではありません。相手をよく見極め、必要な問いを立てながら、それでも信じるという営みです。AI時代には、「疑う力」と「信じる力」の両方を、これまで以上に意識して育てる必要があるのではないのでしょうか。

永守 伸年
文学部 准教授

Profile

京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了。専門は哲学、倫理学（キーワード：哲学史、倫理学、信頼、障害学）。現代社会における「信頼」のあり方などを研究している。

■日本とEU、それぞれのAIへの考え方



すべてを疑うのではなく、
どこに「不信の構え」を持つか。

——学生たちはAIとどう向き合えばよいのでしょうか。

私はAIを使うこと自体を否定する必要はないと思っています。水道や電気のように、インフラと化したAIを使わずに生きるとは、これからは難しくなっていくでしょう。大切なのは、どうやって「疑い」の意識を持つかということだと思います。

私の研究では、あらかじめ相手への否定的な期待、つまり「不信の構え」を持っておいた方がいい場面があると考えています。例えば、AIが学習データに含まれる偏見や偏った価値判断を、知らないうちに繰り返してしまう可能性がある領域です。ジェンダーや人種に関わる問題のように、間違えたときの影響が大きい領域では、最初から「これは鵜呑みにしない」という構えを持っておく必要があります。これも結局は、「何が正しいのか」という価値判断に唯一の正解がないからこそ、必要になる疑いの姿勢です。

ただ、これを個人の心構えだけの問題にするのは難しいと考えています。AIに気持ちよく肯定され続けると、疑うことにもコストがかかり、私たちはそれを避けてしまいがちだからです。開発者や、AIのルールを考える立場の人たちが、あらかじめ「ここは慎重であるべきだ」という設計を組み込んでおくことが欠かせません。今後は、個人の警戒心と、社会の設計、両方が求められるのではないのでしょうか。

『信頼と裏切りの哲学』

永守先生の近著。ホッブズやヒューム、カントらの哲学を手がかりに、認知的信頼・感情的信頼・制度的信頼という三つのレイヤーから、社会秩序の根源にある「信頼」を論じている。



答えを急ぐ前に、
自分の言葉をつくる時間を。

——保護者の皆様にメッセージをお願いします。

AIを使うことで便利になる一方、使えば使うほど判断力が育たないという危険性も指摘されています。私は文学部の教員の一人として、学生には「自分だけの文体を持つこと」の大切さを伝える努力をしています。最近では、図書館で棚の間を歩き、本を選ぶ過程そのものを書く課題も取り入れています。棚の間を歩き、背表紙を眺めながら本を選ぶ時間そのものが、世界の見方を少しずつ変え、自分だけの文体を育てていくと考えているからです。自分の経験や感覚、言葉選びの癖が結びついて生まれる、その人だけの表現にこそ、人間らしい「味」があるのではないのでしょうか。

大切なのは、順番を間違えないことだと思います。まず自分の文体という土台をつくり、そのうえでAIを使う。その順番であれば、AIは考える力を大きく増幅してくれます。しかし逆に、土台をつくる前からAIに答えを預けてしまうと、自分の言葉で考える力そのものが育つ前に失われてしまいます。正解を急がず、自分だけの「文体」を育てていくこと。それこそが、AI時代を生きる子どもたちにとって、何より大きな力になるはずです。



京都市立芸術大学で哲学を教えた経験を持つ永守先生。現在の研究分野の一つは「対話システムにおける信頼と不信」で、複数のAIを有料プランで使い分けている。

立命館大学からのお知らせ

立命館大学では保護者の皆様に、「Web成績閲覧システム」を通じて
学生の春学期・秋学期の成績通知表を公開しています。

2026年度春学期の成績通知表は10月中旬に公開します。

●保護者の皆様には、システムを利用するための
ログインID・パスワード通知書(ハガキ)を
入学後の初回利用時のみ送付します。
通知書は学生の在籍期間中、大切に保管してください。

2026年4月入学者の保証人の皆様には、
9月下旬にログインID・パスワード通知書を送付予定です。

詳しくは成績通知表
公開サイトで


<https://hoshonin-seiseki.ritsumeai.ac.jp>

～ログインID・パスワード通知書が届かない時は?～

①公開対象の確認

通知書の送付対象(成績の公開対象)は、在学中(留学中含む)の学部学生です。公開対象であることを確認してください。

<以下の学生は公開対象外>

- ・休学中の学生
- ・大学院生
- ・秋学期3月中旬／春学期9月中旬までに退学・除籍となった学生
- ・非正規生(科目等履修生、聴講生など)

②学生への確認

学生本人と連絡をとり、保護者の登録情報、保護者住所が正しいかどうか確認してください。保護者の情報はCAMPUSWEB(学生ポータルサイト)で確認することができます。保護者情報が誤っている場合は、学生本人がWeb(学び支援サイト)から変更手続きを行ってください。

③再発行の申請

Web上で再発行の申請をしてください。再発行は成績通知表公開サイトより申請できます。再発行した通知書は、立命館大学の学生本人のメールアドレス宛に送信されます。保護者には送付いたしませんのでご了承ください。

4年間※で計画的に単位の修得を

※薬学部薬学科は6年間

学士号を取得(卒業)するためには、4年以上(薬学部薬学科は6年以上)在学し、かつ所定の単位を修得しなければなりません。各回生終了までに修得が必要な単位数の目安は表の通りです。所属の学部・学科によっては、必修科目が設定されている場合があります。

※掲載している単位数は2025年度秋学期時点のものです。

変更される可能性がありますので、最新の情報は大学が公開しているWeb成績閲覧システムの「成績通知表の見方、成績評価の説明」をご確認ください。

	1回生	2回生	3回生	4回生
薬学部・生命科学部以外の学部	32～35 単位	64～70 単位	96～110 単位	124 単位以上

	1回生	2回生	3回生		4回生
生命科学部	34 単位	68 単位	【春学期終了時点】 【秋学期終了時点】		124 単位以上
			76 単位	100 単位	

薬学部薬学科 (2023年度以前入学者)	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生
	85単位		134単位	164単位	186単位	206単位以上
薬学部薬学科 (2024年度以降入学者)	87単位		132単位	166単位	188単位	206単位以上
薬学部創薬科学科 (2021年度以前入学者)	1回生	2回生	3回生	4回生		
	76単位		108単位	128単位以上		
薬学部創薬科学科 (2022年度・2023年度入学者)	【3回生春学期終了時点】			【3回生秋学期終了時点】		128単位以上
	92単位			108単位		
薬学部創薬科学科 (2024年度以降入学者)	【3回生春学期終了時点】			【3回生秋学期終了時点】		128単位以上
	90単位			107単位		

成績通知表の見方

学生の成績通知表を保護者の皆様にWebでご確認いただくことができます。
ここでは成績通知表の見方を紹介しますので参考にしてください。

成績表の見方について詳しくはこちらからログインしてご覧ください。



※この見本は文学部の成績通知表をもとに作成しています。実際の記載内容は所属学部ごとに異なりますのでご注意ください。

立命館大学 成績通知表

学生番号 学 年
姓 名 学 部 学 科
現住所 電話番号
代 表 者 氏 名
入学年度 入学年度
入学年度 入学年度

2 成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績通知表
※成績



鳥山 純子
国際関係学部 教授

国際基督教大学卒業後、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了。博士(学術)。専門はジェンダー論、中東ジェンダー研究、文化人類学。中東地域をフィールドに、人々の暮らしや生き方、格差や教育などについて研究している。

Webで
スペシャル動画を
配信中!



鳥山 純子ゼミ

●衣笠キャンパス 国際関係学部

テーマ 「ジェンダーを切り口に『当たり前』を問い直す」

ジェンダーを切り口に社会の様々な課題を考察するゼミ。それぞれが自分自身の問題意識をもとに研究テーマを設定し、文献研究やディスカッションを重ねながら卒業論文を執筆する。「別の見方もできる」という視点を養い、自ら考え、発信する力を育んでいる。

ゼミ生VOICE

飯島 大和さん

アフガニスタンにおける女子教育に関心があったので、ジェンダーやイスラームを専門とする鳥山先生のゼミを選びました。現在は視野を世界に広げ、国際社会で平和を実現するためには何が必要なのかを研究しています。

景山 寧々さん

発表に対して自分の意見を述べる機会が多く、主体的に考え、それを言語化して伝える力が身についたと感じています。また、ジェンダーについての知見を深めたことで、メディアやSNSの意見を俯瞰して見る力も身につきました。

小園 菜月さん

生徒一人ひとりの主体性を大切にする学校改革モデル「クオリティスクール」をテーマに研究しています。アメリカ・ミシガン州の学校へのオンライン訪問も実現し、日本の教育に応用する方法などを探っています。

寺嶋 菜々子さん

鳥山先生のもとでジェンダーについて研究したいと思い、このゼミを選びました。家族論の中でもステップファミリーに注目しており、関係構築の過程で発生する葛藤や行政の支援など様々な角度から研究しています。

田畑 和結斗さん

多様性に関する企業の取り組みや社会の動きに関心を持っていたのでこのゼミを選びました。多様性は尊重されるべきだと考えていたつもりでしたが、ゼミを通じて、自分がいかに先入観や固定観念にとらわれていたのかを気づかされました。

滝本 結生さん

ジェンダーを切り口に、現代社会の様々な課題にアプローチしています。労働環境における男女格差やメディアにおけるジェンダー表象、家族観の変化など、多様なテーマを取り上げ、ゼミの仲間と議論しています。

長崎 晴子さん

日本の育休・産休制度の現状について研究しています。将来は仕事でキャリアアップをしながら、母になって家庭も大切にしたいと考えているので、それが実現できる社会になっているのかを調べたいと考えています。

永金 愛海さん

以前から興味のあったジェンダーについて、より深く学びたいと思いこのゼミを選びました。ゼミを通じて、当たり前だと思っていたことが実はそうではなかったと気づき、考え方や視野が広がるのを感じています。

ビネル ファティマヌルさん

ジェンダー研究者ジュディス・バトラーの思想について、発表や意見交換を交えながら文献研究に取り組んでいます。私たちが「常識」だと思っていたことが、実は歴史や社会の中でつくられたものだ学びました。

諸富 千尋さん

入学前から鳥山先生の授業を受けたいと思い、ゼミも迷わず選びました。大好きな鳥山先生のもとで学べるだけで成長を実感できる日々です。現在は、従来のジェンダー観を問い直したジュディス・バトラーの思想について研究しています。



市野 泰和
経済学部 教授

立命館大学経済学部卒業後、ワシントン大学で経済学博士号(Ph.D.)を取得。2019年に立命館大学へ着任。専門は国際貿易理論で、経済学教育や生成AIを活用した授業改善にも取り組んでいる。

Webで
スペシャル動画を
配信中!



市野 泰和ゼミ

●びわこ・くさつキャンパス 経済学部

テーマ 「ミクロ経済学の考えかたの使いかた」

世の中の出来事を「選択・均衡・パフォーマンス」の視点から捉え、ミクロ経済学の理論とデータ分析を組み合わせて研究するゼミ。身近な社会課題をテーマに、自ら問いを立て、データを基に考察する力を養っている。

ゼミ生VOICE

石丸 健太朗さん

ゴミ問題に関するデータを分析しながら、環境政策に参加したくなる仕組みを探っています。

上島 茉奈さん

キャッシュレス決済に関する研究を通じて、ミクロ経済学やデータ分析への理解が深まりました。

岡田 莉奈さん

自分の意見を出しやすいゼミなので、様々な視点から物事を捉える力が磨かれています。

片岡 唯斗さん

市野先生のもとなら、課題や議論に前向きに取り組めると感じてこのゼミを選びました。

河井 朝飛さん

討論や口頭試問の機会が多く、自分の考えを整理し、相手に伝える力が身についたと感じています。

北島 朋弥さん

研究を通じて身につけたデータ分析力は、将来にも役立つと感じています。

靴矢 みうさん

転売が企業に与える影響について研究しています。分析手法や統計ソフトの使い方から学んでいます。

佐藤 瞭光さん

フリマアプリなどによる転売が企業利益に与える影響を、商品ごとに分析しています。

塩ノ谷 宙さん

ゼミでは双方向で議論する機会が多く、自分の考えを伝える力が身につきました。

竹本 晃太さん

お笑い賞レースを題材に、発表の順番が結果に及ぼす影響についてデータを基に分析しています。

田中 秀幸さん

データ分析によって客観的かつ多角的に物事を捉え、根拠のある意見を述べる大切さを学びました。

西 春樹さん

幼少期のお金との関わり方が、キャッシュレス決済の利用行動に与える影響について研究しています。

引地 歩子さん

転売について研究しています。負のイメージだけでなく、その利点や課題について整理しています。

福田 彩乃さん

転売が企業利益に与える影響や、転売対策とその効果についてデータを分析して研究しています。

水野 花音さん

「持続可能」をキーワードに、国民が無理なく参加できる環境政策について研究しています。

向谷 木さん

市野先生の人柄に惹かれてこのゼミを選びました。データ分析の手法や考え方を実践的に学んでいます。

山下 沙友妃さん

ミクロ経済学について説明する力や、統計ソフトの使い方などを身につけることができました。





心技体を備えた
自慢の教え子です



ゴルフ部



男子はリーグ戦での上位進出を目標に活動。個人競技でありながら団体戦ならではの結束力を武器に、日々練習を重ねている。



女子はリーグ戦を目標に活動中。競技経験の有無を問わず、お互いを尊重しながら一体感のあるチームづくりを進めている。



男子主将
原 匠生さん
情報理工学部 4回生

ゴルフは個人競技というイメージがありますが、私たちはリーグ戦をはじめ、団体戦も大切にしています。部員のスコアを合計して順位を競うため、一人ひとりの結果だけでなく、仲間への信頼やチームワークが勝敗を左右します。

また、競技レベルや学年に関わらず交流でき、礼儀・マナーを自然と身につけられることも、ゴルフ部の魅力です。保護者の皆様にも、成績だけでなく、仲間と力を合わせて努力する姿を温かく応援していただけたらうれしいです。



意見を出し合いながら練習に取り組んでいる。



一本一本が
頼れる相棒。

女子はリーグ戦で上位に入ることを目標に活動しています。部員数は決して多くありませんが、初心者も経験者も関係なく、それぞれの立場を尊重しながら、お互いに支え合い、一つのチームとして力を合わせることを大切にしています。

ゴルフは思い通りにいかない場面が多い競技だからこそ、精神力や自分自身と向き合う力が養われるところが魅力です。日頃から支えてくださる保護者の皆様への感謝を胸に、一生懸命プレーする姿を届けていきたいです。



女子主将
簀戸 佐結理さん
政策科学部 4回生

Webで
スペシャル動画を
配信中!



好きなものを通じて、
つながっていく



写真部



写真を通して自由な表現を楽しむサークル。撮影会や展覧会を中心に、学園祭や学外の写真展でも作品を発表している。部員同士で作品を見せ合い、感性を磨いている。

街歩きがもっと
楽しくなりました!

初心者でも
安心して
始められます!



石田 裕一郎さん
総合心理学部 3回生



米澤 咲那さん
生命科学部 3回生



展示会なども自分たちで企画して運営している。



愛用のカメラと
一緒に撮影へ。

写真部では撮影会や展覧会を通して、一人ひとりが自由な作品づくりに取り組んでいます。活動ではテーマやルールを細かく決めることはなく、それぞれが表現したいものを思い思いに作品にできる環境を大切にしています。学内外で作品を発表する機会が多く、自分らしい表現を多くの人に届けられることも魅力です。

今後は展示方法にも工夫を凝らし、より多彩な作品発表の場を作ることをめざしています。学園祭では日頃の活動成果を展示しますので、ぜひ部員一人ひとりの個性あふれる作品をご覧ください。



部長
小野田 亘佑さん
産業社会学部 3回生

Webで
スペシャル動画を
配信中!



福井 春菜准教授

専門——外国語教育学、応用言語学

立命館大学には多様な分野の

専門家である教員が揃っています。

「知への扉」では最先端の研究に

取り組む教員をお招きして、

その分野の魅力や可能性について語ってもらいます。

今回は外国語を学ぶ意欲と成長について研究する、

政策科学部の福井先生にご登場いただきます。



Profile

同志社大学文学部英文学科卒業。関西大学大学院外国語教育学研究科修士課程・博士課程修了、博士(外国語教育学)。近畿大学法学部、立命館大学政策科学部非常勤講師を経て、2025年4月より立命館大学政策科学部准教授。

AI時代だからこそ、 人とつながる言葉を学ぶ。

Q 福井先生のご専門分野について教えてください。

外国語を学ぶ意欲は、どのように生まれ、育つのか。

外国語を学ぶモチベーションに注目して研究しています。留学先で友人ができたことをきっかけに英語をもっと話したくなる学生もいれば、コミュニティに入らず意欲を失ってしまう学生もいます。私はそうした一人ひとりの経験を丁寧に追いつながりながら、「なぜ学ぼうと思ったのか」「何が意欲を支えたのか」を探っています。

最近は、留学先で第二言語だけでなく第三言語にも挑戦する学生や、帰国子女など、多様な学生の意欲に関心を広げています。学ぶ過程では、自分の物の見方やアイデンティティが変わっていくことも少なくありません。モチベーションには波があり、その変化も含めて一人ひとりの学びを丁寧に見つめています。



Q 研究分野の魅力はどんなところにありますか？

外国語が、新しい世界との出会いを広げる。

外国語を学ぶことで、自分の世界が広がり、人や文化との出会いが生まれます。人間ほど面白いものはないと思っており、学生一人ひとりの物語と向き合うことが、この研究の魅力です。授業でも、日本の魅力を海外の人に紹介するプレゼンテーションなど、英語を使って調べ、考え、発信する活動に取り組んでいます。考えを自分の言葉で伝える経験を重ねることで、異なる価値観への理解も深まっていきます。

AIを使えば、文法的に正しい英文は簡単に作れる時代になりました。しかし、「何を伝えたいのか」という発想や創造性は、人にしか生み出せません。また、AIの答えを正しく判断するためにも、自分自身の基礎的な知識や考える力が欠かせません。だからこそ、外国語を通して、自分の考えを自分の言葉で伝え、異なる価値観に触れる力を育てたいと考えています。



Q 先生のゼミではどんな取り組みをされていますか？

一人ひとりの経験が、研究テーマになる。

ゼミでは外国語学習や留学経験に関する研究に取り組んでいます。留学経験をテーマに研究したい学生もいれば、「英語は苦手だけれど韓国語に興味がある」「外国語学習で苦労した」という学生もいます。「人はなぜ外国語を学ぶのか」を考えたい学生を歓迎しています。

学生自身の経験を出発点に研究テーマを考え、インタビューや調査を通して分析を

進めています。初めて外国語教育学を学ぶ学生がほとんどですが、自分の経験と結び付けながら考えられるため、興味深いテーマが数多く生まれています。他の人の経験や価値観に触れることで、自分では気づかなかった視点や考え方に会えることも、このゼミの大きな魅力です。人それぞれ異なる「物語」の面白さや、人を理解することの奥深さを感じてほしいと思っています。

Q 保護者の皆様へのメッセージをお願いします。

答えを教えるより、まず話を聞いてあげてください。

大学生活を支えてくださる保護者の皆様には、心より感謝しています。大学生になると親子で話す機会は少なくなりますが、お子様が大学で経験したことを話してくれた時には、ぜひ最後まで耳を傾けていただきたいと思います。私の研究では学生にインタビューを行います。アドバイスをしなくても、「話したことで考えが整理できた」「自分の気持ちに気づけた」と話す学生は少なくありません。話すこと自体に大きな意味があるのです。

保護者の皆様は、お子様にとって最も安心して話ができる存在です。すぐに答えを示したり評価したりするのではなく、まずは「そう感じたんだね」と受け止めてもらえるだけで、学生は安心して自分の考えを深めることができます。大学での経験や感じたことを共有し、お互いの「物語」に耳を傾ける時間が、学生の成長を支える大切な機会になるのではないのでしょうか。

先生の横顔



福井先生がシンガポールで高校教員として勤務していた頃の一枚。休日にはホーカー(屋台街)で食事を楽しんだり、同僚と夜景を見に行ったり、多文化社会での暮らしを満喫していたそうです。



CAMPUS WALK キャンパス 探訪

Special
OIC編

当日の
様子はこちら!



学びと歴史が交差する街
OIC周辺エリア

大阪いばらきキャンパスがある茨木市の市街地は、
歴史や文化、グルメなど、街の魅力を感じられるスポットが点在しています。
今回は学生レポーターの小野村さん、SMITHさんに散策してもらいました。

キャンパスを飛び出せば、 歴史と文化が息づく茨木がすぐそこに。

大阪いばらきキャンパスがある茨木市は、大阪と京都のほぼ中間に位置し、JR・阪急・大阪モノレールが利用できる交通アクセスに恵まれた街です。駅周辺には商業施設や住宅地が広がり、多くの学生が学び、地域の人々の暮らしが息づいています。一方で市の北部には田園風景が広がり、古くからの歴史や文化を大切に受け継ぐ一面も持ち合わせています。

キャンパスから少し足を延ばすと、大同2年(807年)創建と伝わる茨木神社や、日本人で初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成ゆかりの文学館など、歴史や文化に触れられるスポットが点在しています。築100年を超える町家をリノベーションしたカフェなどもあり、新しい街並みと昔ながらの風景が心地よく調和しています。

学生街としての活気と、城下町として栄えた歴史の面影。二つの表情が同居する大阪いばらきキャンパス周辺エリアには、茨木の魅力が息づいています。



大阪いばらきキャンパスから望む茨木市街地。都市と自然が調和した、暮らしやすい街並みが広がっている。

◎茨木市

人口……………約28.6万人
面積……………約76.49km²
市の花／木……………バラ／カン
姉妹都市(国外)…ミネアポリス市(アメリカ・ミネソタ州)
友好都市(国外)…安慶市(中国・安徽省)
姉妹都市(国内)…小豆島町(香川県)、竹田市(大分県)
アクセス……………JR京都線「茨木駅」／
大阪モノレール・阪急京都線「南茨木駅」
季節の見どころ…春:元茨木川緑地の桜並木 夏:茨木神社「茅の輪くぐり」
秋:紅葉と街歩き 冬:初詣・十日戎で賑わう神社



NAVIGATOR

経営学部 2回生
小野村 佑聖さん

子どもたちの学びを支援する活動に取り組む小野村さん。経営について実践的に勉強中。



NAVIGATOR

情報理工学部 2回生
SMITH, Jakeさん

アメリカ出身。日本の少子高齢化に注目するSMITHさん。AIで社会に役立つ技術を開発したい。

START!



🕒13:00

📍阪急南茨木駅

駅前ロータリーには、現代美術作家・ヤノベケンジさんの作品《サン・チャイルド》がお出迎え。記念に一枚撮って、いざ出発!



徒歩約10分で
OICに到着!



日本式のお参り、
覚えてね!



🕒13:30
📍茨木神社

大同2年(807年)創建と伝わる茨木の氏神・茨木神社へ。地域の人々に親しまれる神社で、境内を巡りながらお参りをしました。

模型や資料が
盛りだくさん!



🕒14:00

📍川端康成文学館

日本人初のノーベル文学賞作家・川端康成ゆかりの文学館へ。幼少期を過ごした茨木の地で、再現書斎に座り文豪気分を体験。

緑豊かな街を
のんびり散策!



🕒15:00

📍omo café +c

締めくくりは趣ある古い町家を改装したomo café +cへ。涼しげな店内でひと息つきながら、大きなかき氷を食べて本日は終了!

◎散策コース◎

阪急「南茨木駅」



徒歩
約10分

モノレール沿いを歩きながら、OICへ。

OIC



徒歩
約20分

キャンパスを抜けて、茨木の街を散策。

茨木神社



徒歩
約7分

住宅街を歩きながら、文学の世界へ。

川端康成文学館



徒歩
約9分

散策の締めくくりは、古民家カフェへ。

omo café +c





社会の仕組みを知り、
人が成長できる環境を、
つくっていきたい。

卒業生 からの手紙

29通目

Letters from graduates 29

人事の現場から、学び続けられる組織を支える。

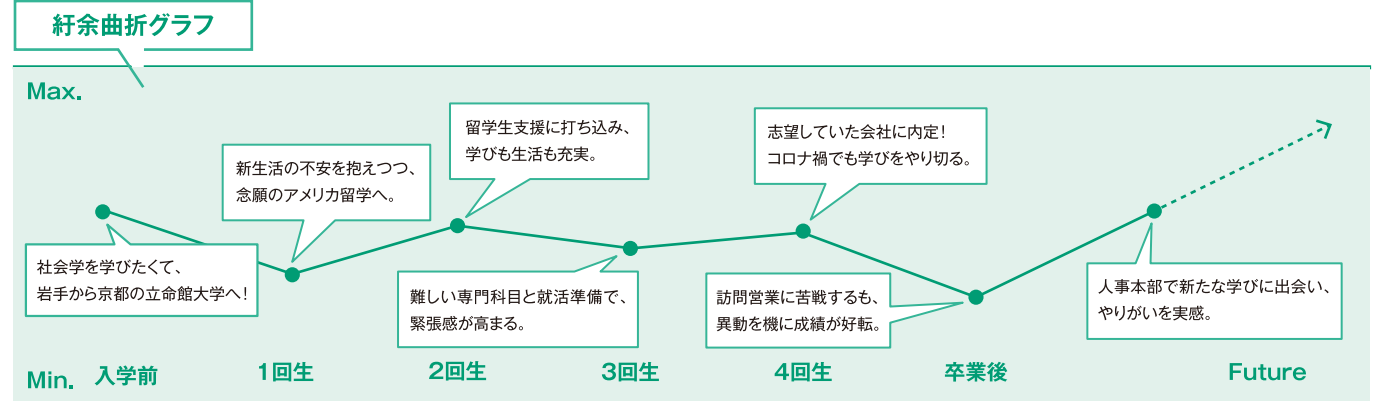
JCOM株式会社

丸山 悠帆さん

2020年3月 産業社会学部卒業
岩手県出身

Profile

岩手県出身。東日本大震災をきっかけに社会の仕組みや地域づくりへの関心を深め、立命館大学産業社会学部へ進学。フィールドワークや留学、留学生支援など幅広い活動に取り組み、社会課題を多面的に捉える力を身につけた。JCOM株式会社に入社後は、大阪での営業経験を経て、現在は東京本社の人事部で人事制度の運用を担当している。



社会を知るために、 フィールドへ飛び出した4年間。

社会学に興味を持ったきっかけは、高校時代に受けた大学の出張講義でした。物事を表面的に見るのではなく、自ら現場へ足を運び、フィールドワークやインタビューを通して社会課題を考えていく学びに魅力を感じました。また、岩手県出身の私にとって、東日本大震災の経験も大きな契機になりました。直接被災はしなかったものの、復興支援のボランティア活動などを通して、社会の仕組みや地域を支えるインフラの重要性を実感しました。歴史と文化が息づく街・京都でなら実践的なフィールドワークができるはずだと考え、立命館大学産業社会学部への進学を決めました。

岩手から京都へ出てきた当初は、知り合いもいない新生活への不安でいっぱいでした。しかし、気さくに話し

かけてくれた関西出身の友人や、母の勧めで暮らし始めたシェアハウスで出会った様々な世代の人たちとの交流が心の支えになりました。勉強も好きだった私は特別奨学金の獲得を目標に努力を続け、同じ目標を持つ仲間との出会いも大きな励みになりました。

大学では地域活性化のフィールドワークや、メディアを社会的に読み解くゼミ活動、アメリカへの留学、留学生支援など、興味の赴くままに挑戦を続けました。また、学生と教職員が協力して学びの場づくりを考える企画にも携わり、「人が学び、成長できる環境」をつくることの意義を実感しました。大学で過ごした4年間は、社会を様々な視点から捉える力を育ててくれた、かけがえのない時間だったと感じています。

現場で学び、 人が育つ仕組みをつくる。

就職活動では、東日本大震災をきっかけに抱いた思いから、人々の暮らしを支えるインフラ企業を志望しました。中でも、通信だけでなく、地域密着で多彩なサービスを展開しているJ:COMに魅力を感じ、入社を決めました。しかし、社会人生活1年目には、大きな壁にぶつかりました。大阪で訪問営業を担当する中で、思うように成果が出ず、自分には向いていないのではないかと悩む時期もありました。

転機になったのは、オンライン営業への異動です。良い上司にも恵まれ、自分らしさを発揮できるようになると成績も大きく向上しました。入社4年目には希望していた東京本社の人事部へ異動。本来は研修や人材育成に携わりたいという思いがありましたが、「まず会社全体を理解してから」という上司の言葉を受け、人事評価や処遇制度の運用など、人事制度の基礎から学ぶことになりました。

会社全体の課題や社会の変化を分析する今の仕事は、大学時代の学びの経験がいきていると感じています。将来は人材育成やリスクリングにも携わり、誰もが学び続け、成長し続けられる環境づくりに貢献したい。それが、大学時代から続く私の変わらない目標です。



東京の本社で、人と組織の未来を支える仕事に取り組んでいる。

丸山さんからの
メッセージはこちら▶



あるある



探検隊

●第25回MISSION●

衣笠の新展開とは？

衣笠キャンパスで
大規模な工事が進行中との情報が！
現場へ急行して真相を確かめよ！

PROFILE



坂田 菜帆さん
産業社会学部 3年生

RBCや探検隊の活動で3キャンパスを横断している坂田隊員。普段は衣笠キャンパスに通っているが、今回の新展開は初耳とのこと。



これが デザイン・アート学部の新棟だ！



現段階で建設・整備が計画されている建物・施設のイメージ図です。

創る・学ぶ・発信する。
創造性を育む新たな学びの拠点。

デザイン・アート学部では、2027年3月の完成に向けて新棟の建設が進んでいます。建物は地下1階から地上2階までの3層構成で、「制作」「学び」「発表」が自然につながる空間として設計されています。地下1階には作品制作ができるファクトリー機能を備え、1階では学びや交流、2階では展示やイベントを通して成果を社会へ発信します。壁を少なくした開放的な空間や、学生自身が使いながら育てていく"余白"のある設計も特徴です。さらに周辺の緑と一体となった憩いの広場も整備され、創作や交流の新たな拠点となることが期待されています。



デザイン・アート学部／研究科事務室
中西 ゆりえ



現在は改修した充光館を中心に授業が行われている。

今回の発見

創造性も育む
新しい学びの場が誕生！



プレゼントクイズ

Q. 衣笠キャンパス前にある堂本印象美術館のレリーフには、窓枠からこちらを覗いている人物が模されています。それは誰でしょう。

ANSWER

- ① 堂本印象の「母親」
- ② 堂本印象の「妻」
- ③ 堂本剛の「母親」



立命館大学のオリジナルグッズ
「ロゴ入り風呂敷」をプレゼント！

応募は
Webから！



神と仏と 古代日本



仏教の受容と病

仏教の公伝があった6世紀中葉の欽明天皇の時代から、続く敏達天皇の時代にかけては、受容の可否をめぐる蘇我氏と物部氏の抗争があり、仏像や仏殿の破却といった廃仏の行為も見られた。天皇自身は日和見的な姿勢を示したように伝えるが、敏達天皇が仏教を信じなかったと『日本書紀』に明記されるように、むしろ受容を拒否する意向であったとも受け取られる。ただ、疫病の流行に際して、伝統的な神々の怒りを招いたという大連・物部守屋ら受容反対派の意見を容れ、廃仏を許可しながらも、大臣・蘇我馬子に対しては、個人的な仏教信仰を認めていた。

天皇としてはじめて仏教受容の意向を示したのは、敏達天皇を嗣いだ弟の用明天皇で、天皇は仏法を信じ神道を尊んだと評された。その契機となったのは、天皇自身の病である。用明2年(587)4月2日、新嘗祭に臨んだ天皇は、病となり池辺双槻宮に戻り、仏教への帰依を群臣に諮る。欽明朝の公伝の時と同様に、物部氏や中臣氏は神々に背くことになると反対したのに対し、蘇我馬子は天皇の意向に従うべきと反論する。結局、天皇の弟の穴穂部皇子が豊国法師を連れて内裏に入ったが、同月9日天皇は崩御に至る。

これに関連して、法隆寺金堂に安置された薬師如来像の光背銘には、天皇が丙午年(用明元年)に妹の額田部皇女(のちの推古天皇)と子の厩戸皇子(聖徳太子)に、病氣平癒を祈願して薬師像の製作を詔したと見える。この銘文は7世紀後半以後に追刻されたと考えられるが、当時伝え

このシリーズでは、在来の神々に対する信仰(神祇信仰)が存在した日本の古代社会に、どのような過程で外来の宗教である仏教が受け容れられ、それぞれの段階における特色が形成されたのか、歴史的な意義について考えます。

られた用明天皇の意向を反映したものと見なして大過なからう。薬師如来という、もっとも病の平癒と関係の深い仏像を製作しているのも、その契機が病にあったことを窺わせている。

天皇の身体の保全が最重要な課題であったことは言うまでもないが、罹病した場合、伝統的な神々に対する祭祀では、直接病者に施す具体的な方策をもたなかった。これは、病を神々が忌み嫌う穢れ(けがれ)の一種と認識していたからであり、清浄性を維持するために、むしろ病者を神々から遠ざける必要が存したのである。これに対し、仏教では逆に、病者の救済は出家者が進んで実践すべき行為として奨励され、実際に僧侶は、医方明(いほうみょう)と呼ばれる医学や薬学の知識・技術を、関連書籍や修行体験を通じて習得していた。それ故、豊国法師のように、重要な人物の病に際しては、この方面で評価の高い僧が招請され、看病に従事することになった。

先に紹介した蘇我馬子に対する仏教信仰の認可も、馬子が自身の病を治すのに仏教の力に頼らざるを得ないと申し出たことによる。こののち、日本古代史に高僧として名を残す僧侶の大半は、修行で培った呪力と同時に、実践的な医療の知識・技術を身に付けていたことが認められ、奈良時代の玄昉と聖武天皇、道鏡と称徳天皇のように、治病の行為を通じて、僧侶と天皇との間に強い絆が生じることも往々にして見受けられた。してみれば、仏教の受容に最も影響を及ぼした要因として、病への対処に注目する必要がある。



文学部
本郷 真紹 特命教授
専門分野:日本古代史

主たる研究課題は、7～9世紀の日本古代律令国家の宗教政策、地域における宗教交渉過程(仏教と神祇信仰の関係)、古代宗教制度の史的意義、古代王権の宗教的性格 ほか。

Webで連載企画を
毎月更新中!



読者の声

皆様のお声が
誌面を作っています。

とても明るい作りの会報誌なので、楽しい気持ちで
何度も読み返しました。感謝しています。

遠方に住んでいるので、会報誌で大学の情報やキャンパスの様子を知れるのは助かります。

父母教育後援会の取り組みを知り、私も古本募金で少しでも学生の力になりたいと思います。

遠方から入学したので何かと不安でしたが、
会報誌を拝読して不安が安心へと変わりました。

100円朝食や保険診療費補助など、「あったらいいな」が形になっているのが素晴らしいと思います。

子どもが卒業しても100円朝食の継続のために、
古本募金などで協力したいと思っています。

大学生活を知る機会が少ないので、保護者向けの
企画や会報誌はありがたいです。

会報誌を読むと立命館大学への愛着が深まります。
今号の表紙もとても素敵でした。

国際教育センターからのお知らせ

10月より、留学プログラムの募集が始まります。

立命館大学では、異文化に触れる1～5週間の短期プログラムから、語学力を磨く4～6ヶ月の1セメスタープログラム、そして専門科目を現地で学ぶ約8ヶ月の長期プログラムまで様々な留学の機会を提供しています。留学先は、北米・ヨーロッパ・オセアニア・アジアなど、世界各地に広がっています。異文化に触れることで視野が広がり、帰国後の学びや進路への意識が大きく変わる学生が多くいます。また、留学プログラムに参加した学生からは「留学で得た経験が自分の力になった」という声が多数寄せられています。

【立命館大学の留学プログラムの特徴】

- 1.世界トップレベルの大学で学ぶ機会が得られます。
- 2.海外旅行保険への加入および24時間・365日対応の危機管理サポートにより、安心して留学生活を送ることができます。
- 3.立命館大学独自の奨学金など、全員が利用できる制度を含めた各種奨学金により、費用負担を軽減できます。
- 4.留学期間も本学の在籍期間として認められるため、4年間での卒業が可能です。*
- 5.留学先で修得した単位は、本学の単位として認定されます。

※状況によって4年で卒業できない場合もありますので、事前の履修相談を行ってください。

募集スケジュール

募集要項は応募開始に先立って公開します。ぜひご家庭でも、お子様の将来や学びの選択肢の一つとして、留学について話し合う機会としていただけますと幸いです。

■ 短期・1セメスタープログラム
(2027年2～3月出発予定)

募集要項発行: 9月28日(月)
応募受付期間: 10月7日(水)～10月13日(火)

■ 長期プログラム
(2027年8～10月出発予定)

募集要項発行: 9月上旬予定
応募受付期間: 10月7日(水)～10月9日(金)

プログラムによっては、2次募集を行うものもあります。詳細は募集要項をご確認ください。

募集要項は
こちら

